

宮部みゆきの 江戸怪談散歩

宮部みゆき／責任編集
中経出版 2013.8
910.26／ミ

人はなぜ、怖い話にひかれてしまうのでしょうか。それは聴いて、読んで、語って愉しむという面があるからでしょう。この本は宮部みゆきの怪談の舞台となった街を歩きながら、その魅力を語ります。

江戸の化物 草双紙の人気者たち

アダム・カバット／著
岩波書店 2014.1
913.57／加

江戸庶民の読んだ「草双紙」には、ろくろ首や河童など、何ともおかしな化物たちが登場します。生まれも育ちもニューヨークという、カバット先生が、こんな化物たちの姿を解明します。

TOKYO図書館日和

富澤良子／著
アスペクト 2007.6
010.21／ト

公共施設で過ごす「クールシェア」として図書館が挙げられています。普段利用している図書館だけでなく、隣町の図書館へ少し足を伸ばして出かけてみる。いろいろな図書館のコレクション、予期せぬ本との出会いなど、はまり込んでしまうかも。

・今回、環境対策課の市民環境講座に協力し、8月6日に「図書館でクールシェア」を開催します。それを機会に小展示を行います。

・この図書リストは熱中症予防、環境に配慮した生活から怪談、図書館散歩まで、幅広くとりあげました。暑い夏を乗り切るために、ささやかですがお役に立てば幸いです。

編集・発行
小牧市立図書館
平成28年7月12日

平成28年度 市民環境講座 協力
図書館でクールシェア
展示図書リスト
2016.7.12~8.11

小牧市立図書館

知って防ごう熱中症 正しい予防と迅速な処置 のために

田中英登／著
少年写真新聞社 2008.7
493.19／㊦

この本は、熱中症について、その予防から対応について、豊富な写真や図を用いてわかりやすく解説しています。「見逃さないで！熱中症のサイン」などの付録もあります。

クールシェアって何？

暑～い夏がやってきました！熱中症予防のためにも、昼間の日中は家のエアコンを切って、図書館に出かけませんか？健康管理の本や地球環境を考える本だけでなく、思いがけない涼しい本（怪談など）もありますよ。

夏の暑い日は、家の電気使用量の半分以上をエアコンが占めています。家庭では、複数のエアコン使用をやめ、なるべく1部屋に集まる工夫をしたり、公園や図書館などの公共施設を利用することで涼をシェアする、など1人あたりのエアコン使用を見直すことがクールシェアの考え方です。

（参考：環境省HP）

昭和に学ぶエコ生活

日本らしさにヒントを探る

市橋芳則／著
河出書房新社 2008.8
590／㊦

現代のように電化製品に囲まれて暮らすライフスタイルが定着したのは昭和30年代です。暮らしとは工夫そのものだった当時の生活から学ぶことはあるのです。

熱中症対策マニュアル

稲葉裕／監修
エクスナレッジ 2011.6
493.19／㊦

「熱中症」は広く知られてきましたが、患者数は増加の一途をたどっています。この本では熱中症の基礎知識、予防方法、応急処置法を紹介しています。正しい知識を持って暑さに備えましょう。

労働の科学 2011.6

<特集>温暖化する地球で熱中症とたたかう

労働科学研究所
雑誌

東日本大震災後、電力の供給不足により、熱中症対策の必要性が高まりました。さらに地球温暖化という大きな環境変化と、企業や職場での熱中症対策もつながっているのです。

簡単エコで涼しい暮らし 暮らし暖かい暮らし

美快生活クラブ／編
はまの出版 2007.8
590／㊦

「ちょっと昔の生活」は人にも地球にもお財布にもやさしい。この本では打ち水、日よけ、うちわや扇風機の活用など、できるだけエアコンを使わずに涼しく過ごすコツを紹介しています。

夏を涼しく！おばあちゃんの知恵袋

おばあちゃんの知恵袋の会
／編
大和出版 2011.6
590／㊦

今はもうエアコンのない生活は想像できないかもしれませんが。しかし、今からまだ40年前、おばあちゃんの時代は、暑い夏を涼しく暮らすさまざまな知恵がありました。